

経済倶楽部便り

◆東京◆ 政府のコロナ対策もウイズコロナに変わり、講演会も平常開催になっています。が、オンライン配信の定着で会場が満席になることはありません。そこで講師ごとの視聴数（最初から最後まで視聴した数字）の集計をしてみました。2021年は1位伊藤元重氏、2位永濱利廣氏、3位三浦瑠麗氏、4位吉崎達彦氏、5位保阪正康氏でした。今年は現在までのところ1位古賀茂明氏、2位柯隆氏、3位宇野重規氏と下斗米伸夫氏、5位辺真一氏でした。毎年1回行っている会員向けアンケート調査の講師人気ランキングと異なる点に興味深いです。

2月の新会員をご紹介します。古河機械金属社長の中戸川稔様です。

7月の講師は双日総研チーフエコノミストの吉崎達彦氏、国際政治学者の三浦瑠麗氏、ミライ口代表取締役の垣内俊哉氏を予定しています。

◆中部◆ 5月の講師にみずほ銀行チーフマーケット・エコノミストの唐鎌大輔氏に来て頂きました。唐鎌氏は話題になった「悪い円安」が止まる条件として以下の3点を指摘されました。①日銀の出口戦略への動き②LNG輸入が貿易赤字の最大の原因であることから、原発再稼働を検討③インバウンドの全面的な解禁。

7月の講師には大正大学地域構想研究所教授の小峰隆夫氏、拓殖大学海外事情研究所教授の富坂聰氏を予定しています。

（日暮良一）